

平成 20 年度の公共工事コスト縮減実績の概要

公表資料

経過

本市では、平成 18 年度を初年度とし平成 20 年度を最終目標年度とする「羽咋市公共工事コスト縮減対策に関する行動計画」(以下、「行動計画」という)を策定し、「直接的工事コストの縮減」を主体に、5 分野 30 施策 148 項目(直接的な工事コストの縮減施策 101 項目、間接的な縮減施策 47 項目)の具体策を掲げ、市発注の公共工事について、全庁で総合的なコスト縮減に取り組んできました。

目標

縮減目標は、平成 14 年度の標準的な公共工事コストを基準にして、平成 20 年度に 10% 以上のコスト縮減率を達成することとしています。

平成 20 年度実績

平成 20 年度は、コスト縮減対象の 49 工事(工事費 1,280 百万円)で実施した結果、縮減率は 18.9%、縮減額は約 299 百万円となりました。

対象件数	対象工事費	縮減額計	縮減額の内訳		縮減率
			直接的分野	間接的分野	
49 件	1,280 百万円	299 百万円	294 百万円	5 百万円	18.9%

(縮減率 18.9% = 縮減額 299 百万円 / (縮減額 299 百万円 + 対象工事費 1,280 百万円))

(内容)

工事コスト縮減の内訳としては、工事の計画・設計等の見直や建設副産物対策などの直接的工事コストの縮減施策が実績の大部分を占めています。

(平成 18 年度実績) 平成 18 年度は、コスト縮減対象の 87 工事(工事費 1,393 百万円)で実施した結果、縮減率は 10.6%、縮減額は 166 百万円となっています。

(平成 19 年度実績) 平成 19 年度は、コスト縮減対象の 74 工事(工事費 1,633 百万円)で実施した結果、縮減率は 12.3%、縮減額は 228 百万円となっています。

今後の取り組み等

平成 20 年度は、目標縮減率(10.0%)を大きく上回る 18.9%の縮減率となりましたが、この主な要因として、上水道施設中央監視施設更新工事の 1 件で縮減率全体を約 5%も引き上げている特殊な事情もありますので、今後も引き続き、あらゆる分野で積極的にコスト縮減に取り組んでまいります。

また、具体的施策の着実な推進を図る観点から、「羽咋市公共工事コスト縮減対策推進委員会」において、実施状況の検証と評価を行います。